

国際交流 NEWS

コロナ禍だって国際交流！

Vol.8-2021

国際交流 NEWS 第 8 号

- 1 2020 年度 ONLINE 交流
- 2 新留学生の紹介
- 3 海外研修（ドイツ）個人留学（カナダ）報告

世界中でパンデミック下、慣れない生活を強いられ、我慢の時間が続いています。でも、下を向いてばかりはいられません！ONLINE 交流で新たに気づいたこともあります！学科、学年、国籍を超えて話した！そんな学生たちの声をお届けします。

Online 交流しました！

Vietnam 2020.9.12

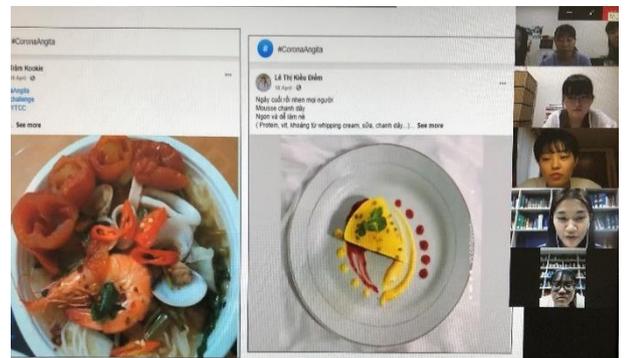
＜学生が発信、COVID-19 キャンペーン＞

ホーチミン医科薬科大学の薬学部学生と zoom を用いてコロナ禍での自宅での過ごし方や、生活の変化などを紹介しあった。彼女たちの顔を見るのは 2019 年に健大へ研修に来た時以来であり、元気な笑顔に安心した。

彼女たちは自ら、COVID-19 感染対策に加えて自宅で行う簡単エクササイズや料理などについて学内で発信している。私自身、コロナ禍で旅行ができない、友だちに会えないなど「できないこと」ばかりに気が取られていたが、彼女たちが「今できること」



を発信し、学内の明るい雰囲気づくりに努めている姿に刺激を受けた。それに感化され、今回のようなオンラインでの国際交流を探し参加している。実際に会える日を楽しみに、今できることに力を入れたい。
薬学科 5 年 学生



*薬学部で作ったせっけん液を学内配布

発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2021. 5. 20
9 号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

Finland 2020.11.21 <パンデミック下で働く現地看護師さんの声>

フィンランドの提携大学 JAMK 卒業後、首都ヘルシンキで働いている 2 名の看護師さんと Online 交流を行いました。パンデミック宣言後、フィンランドではスーパーの食料棚が空っぽになったり、テレワークが盛んになったり、サウナや映画、美術館などの公共施設は閉鎖、飲食店はデリバリーやテイクアウトのみになったそうですが、特に私が驚いたのは「子供向けの政府記者会見」です。政府が子供たちを対象として行い、子供視点での意見を首相に話してもらおうということでした。大人は勿論、子供までの幅広い国民の意見を聞いたり、女性の社会進出に力を入れていたり、政府が国民の信頼を得ている点がとても興味深かったです！その他、食事や文化など様々なことをディスカッションしました！フィンランドとの交流を通して自分の知らないことを知れたので、この交流を機にコロナが収まったらぜひフィンランドに行って異文化理解を深めたいと思いました！

看護学科 3 年 学生



角田雅江さん



ABA さん

*お二人とも 2016 年に受入れプログラムにて健大を訪れています！



Germany 2021.1.9 <まだまだ知らないドイツの話！>

今回の交流では、ドイツ フランクフルトに住む、マルクスさん茜さんご夫妻にドイツの文化や習慣についてお話を聞きました。ドイツでは、「お酒一杯までなら飲酒運転にならない」「ビールやワインは 16 歳から飲むことができるが、その他のお酒は 18 歳から」という法律があり、ビール大国であるドイツならではのルールについて知ることができました。また、日本からドイツに渡った茜さんは、ドイツの食文化である豚肉を生で食べる（ハッケペーター）ことに最初は驚いたそうですが、今ではおいしく食べられるようで、文化の違いの面白さを感じました。パワーポイントを使ってドイツのメルヘンな街並みや、ディズニーのモデルになったと言われている古城など、たくさんの写真を見ながらお話を聞けたのも Online 交流ならではの。実際にドイツに行った時とはまた違う新たな発見がありました！

子ども教育学科 4 年 学生



マルクスさん&茜さん

*2020 年のドイツ研修で現地にてサポートをしてくれました！



ハッケペーター

台湾 2021.3.6 <COVID-19 封じ込め>

学術協定先である台湾の弘光科技大学、看護の大学院生 22 名とオンライン交流を行いました！「COVID-19 における授業や実習への影響」、「学内での感染予防対策における具体的な取り組み」等について意見交換したのですが、時間通りに始まらない、写真を撮るのに時間がかかる、突然中国語での会話が始まるなど、不安なスタートでした。しかしディスカッションが始まると、台湾独自のコロナ対策を知ることが出来ました。台湾では日本のマイナンバーカードのような健康保険証を使ってマスクを国民に適切な価格で行き渡



渡るようにしていることや SARS を経験しているので感染症に対する危機感の高さ、判断・対応の早さに優れていることがわかりました。さすがコロナの封じ込めに成功した国だなと感じました！また、弘光科技大学の学生は英語で質問をしたり、自分の意見を言ったり、とても積極的に、刺激を受けました。同時に自分の力不足も感じて、英語を勉強するモチベーションにもつながりました！！ 看護学科 3 年 学生

健大留学生 2021.3.12 <教育と就活事情！ジンバブエ/韓国/日本！>

他学部の学生との交流は経験がなかったので、交流会をすごく楽しみにしていました。留学生は韓国出身の私とジンバブエ出身の方が参加し、日本人学生たちとお互いの国の教育制度について紹介した後、ディスカッションしました。日本と韓国は地理的・歴史的な関係が深いため、ベースになる教育システムはほとんど同じでしたが、アフリカにあるジンバブエはイギリスの教育制度に従っていることが分かりました。違う国でそれぞれの教育を受けてきた人達が今は日本という国の同じ大学で交わり勉強しているとは..なかなか面白いことですね。

特に、就活事情のテーマについてはディスカッションがより盛り上がりました。私は将来日本で就職し、家庭を持って定着したいと思っていますので、現地の人からその事情を聞いたかったです。日本は平和で、豊かな国であって今後の生活もとても楽しみです。我々外国人にとっては、外国人差別はないか、日本人と平等に扱ってもらえるかなどの不安もたくさんあるわけです。今回の交流会ではそのような現実的なことも含めて、就活全般における諸事情を聞いたので、とてもよかったです。また、就活において悩みを抱えているのは日本人学生にとっても変わらないことにも気づきました。そのような悩みを共有しながら、より関係が深まった気がします。このように国際交流はグローバル時代において世界観の拡張や自分自身発展にもつながると



思います。興味のある方はぜひ参加してみてください。



薬学科 3 年 学生

新留学生の紹介！

農学部生物生産学科の 1 年生です。日本へ来て 2 年。趣味は温泉へ行くことです。箱根、日光、目黒の温泉へ行ったことがあります。今年は伊香保温泉へ行きたいです。旅行先で日本の人は優しいと思いました。また、日本語が大好きで日本のアニメや、ドラマに興味を持っています。好きなアニメは鬼滅の刃、はたらく細胞、家庭教師ヒットマン REBORN です。私はちょっと内気ですが、日本人と友達になりたいです。どうぞ宜しくお願いします！



ぎいぎい 行きました！

Germany 2020.2.8-2.18 <ドイツの福祉と文化を体感@フランクフルト！>

10日間のドイツ研修に行ってきました。新型コロナウイルスがアジアで流行り始めた時期で、中国人と思われたり、すれ違いざまに口を覆う仕草をされたりしましたが、今となっては、その時期ならではの思い出の一つです！研修中はフランクフルトにあるホステルに泊まり、フリー時間には周辺的大型ショッピングセンターへよく通っていました。お土産は買って買って足りなかったです（笑）！

研修は福祉プログラムを中心に活動し、幼稚園・ひとり親家庭支援団体・病院・貧困者への食糧配給支援団体などを訪問しました。特に印象に残ったのは、食糧配給支援団体です。この団体は全て寄付金で活動しており、ボランティアで運営をしています。ボランティア精神が豊かなドイツならではの活動だと感じました。研修の合間に観光したハイデルベルク城の景色は、一生忘れられないものになりました。壮大で、幻想的な古城に胸が躍り、心から感動しました！ドイツには美しい建物が多いため、一人でも多くの人にこの感動を味わってもらいた



ハイデルベルク城



いと思います。
社会福祉学科3年
学生

Canada 2020.2.29-3.29 <個人留学>

ぐんま赤尾奨学財団から奨学金を頂き、約1ヶ月間のカナダ留学を経験しました。語学学校やボランティアへ行っていましたが、途中からロックダウンとなり、1日中ステイ先で過ごす日々へ変わってしまいました。「せっかくカナダへ来たのに」と落胆しかけましたが、そんな気持ちはすぐに消えました。ステイ先にはホストファミリーと留学生、合わせて



10人もの方が過ごしていたからです。しかも国籍は多様！外へ出られない分、家で一緒に楽しむ時間が増えました。料理に関しては、今日は韓国、明日は日本といったように、毎日お互いの国の料理を教え合い、みんなで作りました。ステイ先のみならずたくさん交流ができたのは貴重な思い出です。コロナ渦でもできないことばかりに目を向けるのではなく、今何ができるのかを考えることの大切さを感じた留学でした。



薬学科6年 学生

★国際交流センターでは、Online 交流やグローバルカフェ等、さらに進化させて、新しいことに挑戦していきますので、みなさん是非参加してくださいね。 乞うご期待！